

# 犬・猫の脾炎

## 診断フロー

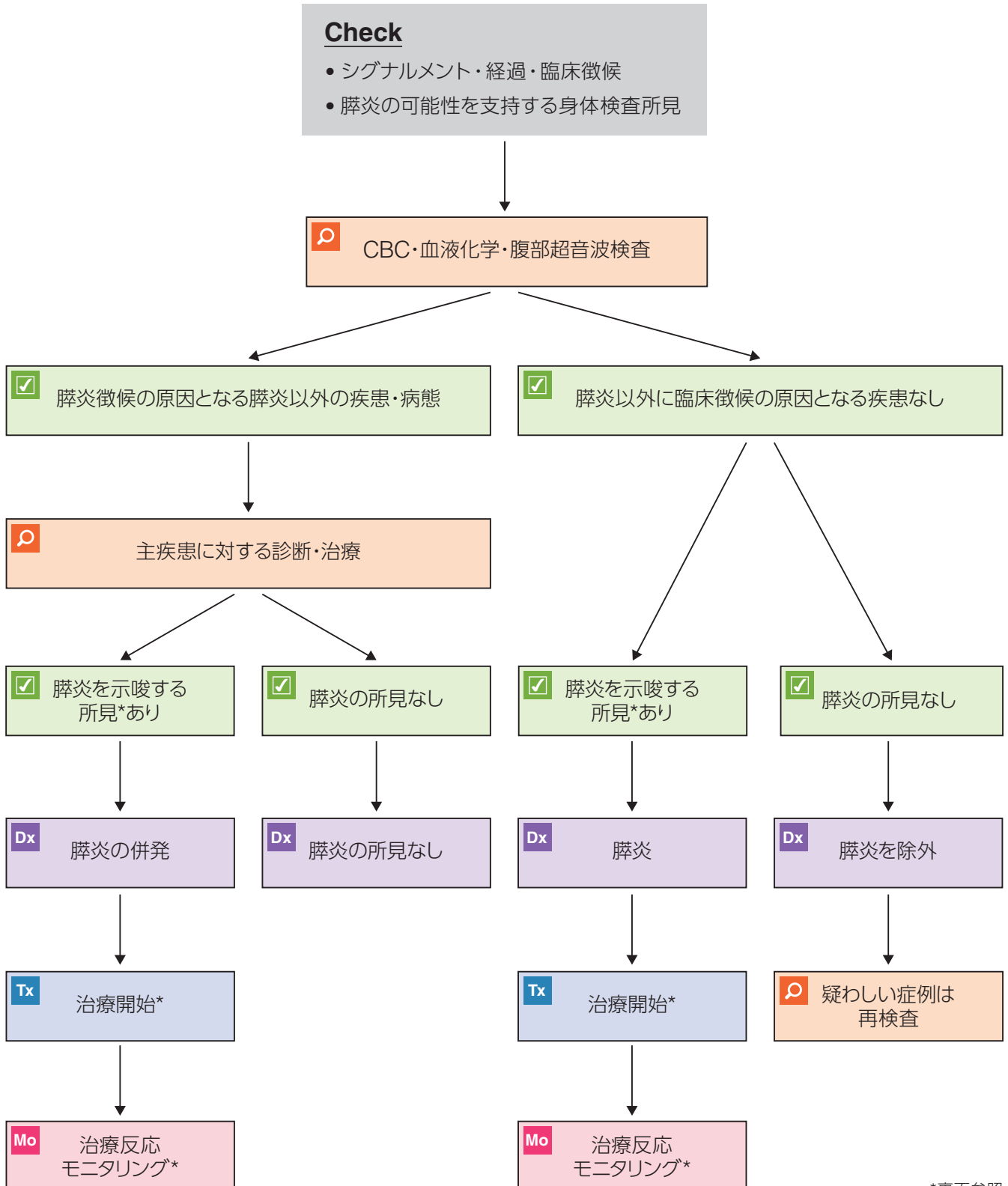
🔍 検査

Tx 治療

Mo モニタリング

Dx 診断

✅ 結果



\*裏面参照

# 膵炎の治療と診断

## シグナルメント・病歴・臨床徴候

好発犬種： ダックスフント・テリア・シュナウザー・コッカー  
年齢： 7歳以上  
シグナルメント： 避妊/去勢済・肥満・不適切な食事  
基礎疾患： 犬：副腎皮質機能亢進症・甲状腺機能低下症・糖尿病・高カルシウム血症  
猫：糖尿病・肝リピドーシス・免疫介在性溶血性貧血・腸炎・胆管炎  
臨床徴候： 食欲不振・嘔吐・活動性低下・下痢

## 血液化学・腹部超音波検査

### 血液化学

肝酵素上昇・高ビリルビン血症・高窒素血症・低アルブミン血症・高/低血糖  
電解質異常・脂質異常・CRP(犬)/SAA(猫)上昇

### 膵酵素測定

以下の検査のいずれかで基準範囲上限を超える：

spec cPL・SNAP cPL・DGGR リパーゼ・v-LIP・spec fPL

### 腹部超音波検査

膵臓：腫大・エコーテクスチャーの変化・不整な辺縁・膵管拡張・嚢胞  
その他：高エコーの腸間膜・腹水・胆管拡張・胃壁の膨張・イレウス

## Dx 診断 (表面参照)

## Tx 治療

輸液療法： 乳酸リンゲル・その他の調整晶質液など  
制吐： クエン酸マロピタント・オンダンセトロンなど  
鎮痛： ブプレノルフィン・フェンタニルなど  
栄養管理： 経口/経腸：可能な限り  
(抗炎症治療)：プレドニゾロンなど

## Mo モニタリング

臨床徴候 ± リパーゼ・CRP(犬)/SAA(猫)・腹部超音波検査

作成：金本英之 先生

ライフメイトグループ/ER八王子動物高度医療救命救急センター  
DVM, PhD, DAiCVIM (Internal Medicine)



FUJIFILM

富士フイルム VETシステムズ株式会社

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3丁目35-1 ネオ・シティ三鷹12F